

平成29年度病院連絡会議 ～病院と在宅との連携～

平成30年3月16日

会議の主旨

病院連絡会議は、市内12の病院にご出席いただき、これまで「救急医療」について議論してきた「9病院連絡会議」、病院と在宅医療の連携について議論してきた「10病院地域連携会議」の流れを受け継ぐものです。また、平成26年度から災害医療に関しても継続的に協議しているため、災害医療協力病院及び準災害医療協力病院にもご参加をいただいています。

次 第

1. 開会

2 挨拶

3. 議事

(1) 救急搬送の現状と課題(柏市消防局救急課)及び救急医療・在宅医療連携の取組みについて(柏市保健福祉部地域医療推進課)

(2) 小児救急体制について(柏市保健福祉部地域医療推進課)

(3) 災害医療について(柏市医師会)

(4) 在宅医療について(柏市保健福祉部地域医療推進課)

4. 意見交換

5. その他

6. 閉会

平成29年度 病院連絡会議 出席者（敬称略）

1. 柏市医師会

会 長 金江 清
副会長 長瀬 慈村
副会長 松倉 聡
理 事 古田 達之

2. 病院

- (1) 国立がん研究センター東病院
院長 大津 敦
副サポーターブケア室長 坂本 はと恵
- (2) 東京慈恵会医科大学附属柏病院
副院長 小倉 誠
救急科 診療部長 奥野 憲司
看護師長 和気 江利子
患者支援センター主任 市原 崇之
- (3) おおたかの森病院
院長 松倉 聡
総務課係長 安井 孝雄
地域連携室 岡田 英明
- (4) 岡田病院
常務理事・小児科医長 岡田 剛
事務長 木村 直樹
医療連携室主任 中澤 紀之
- (5) 柏厚生総合病院
事務長 根本 欣司郎
地域連携課係長 牛島 功貴

- (6) 柏市立柏病院
院長 野坂 俊壽
地域医療支援センター 染野 貴寛
 - (7) 柏たなか病院
院長 谷山 新次
事務長 升谷 徹
 - (8) 辻仲病院柏の葉
院長 浜畑 幸弘
地域連携室 岡本 裕子
 - (9) 名戸ヶ谷病院
院長 高橋 一昭
地域連携室 吉野 孝
 - (10) 深町病院
事務長 堀田 敏一
 - (11) 柏南病院
院長 坂井 博
- ※聖光ヶ丘病院は、欠席。
※行政からは、保健福祉部、消防局、
防災安全課、保健所職員 が参加。

情報共有システムについて(平成29年度病院連絡会議:資料4抜粋)

1. 情報共有システムを利用したことによる効果

連携の例		情報共有の例			効果
病院	在宅	入退院を繰り返しているケース	処置が必要なケース	外来通院中のケース	
医師 ⇔ MSW 退院調整看護師	訪問診療医 訪問看護師 ケアマネジャー 地域包括支援センター 等	・病院・在宅での診療情報	・処置の方法・経過等	・生活状況	・緊急入院時等, 情報がより早く入手できる
		・家族への説明	・皮膚等の画像添付	・検査データ	・外来受診時における円滑な情報把握
		・介護職等からの情報		・受診時の様子	・書面が届くまでのタイムロスが短縮
薬剤師 ⇔ 薬剤師		・病院・在宅での処方内容		・退院後のフォロー	・画像を共有することにより経過を把握
リハビリ職 ⇔ リハビリ職		・病院・在宅での治療内容		・退院後のフォロー	・日常生活・家族状況の把握 →食事内容, 日頃思っていることなど

2. 情報共有システムに関しご協力していただきたい事項

- (1) 情報共有システムの利用登録及び活用。
- (2) 情報共有システムの利用登録をされている先生方の情報共有システム上での名簿開示及び多職種への名簿配布。

病院と在宅との連携強化について

【平成29年度の主な取組み】

○病院と在宅のさらなる連携強化に向けた研修会（地域包括ケアシステム「柏モデル」研修会）

- ・地域包括ケアシステムへの理解促進への成果
- ・連携室の存在価値の再認識と相談件数の増加
- ・病院内での意識の変化，在宅との連携への機運の高まり
- ・継続の必要性および効果的・多面的な取組み方法の検討
- ・柏モデルの取組み・柏地域医療連携センターの認知度向上
（病院医師や外来・退院支援看護師からの相談の増加）

○包括主催：ケアマネジャー対象の地区別研修（医療と介護の連携強化）

- ・病棟の役割の違いや退院支援の仕組みの理解につながった
- ・GWを通じて具体的な話ができ，顔の見える関係構築ができた
- ・病院とケアマネジャーとの双方向の情報共有，相互理解が必要
- ・在宅-病院-施設との意見交換できる場が必要

○病院と在宅との連携状況の見える化（レセプト分析等による評価）

- ・退院前カンファレンスの実施件数増加，在宅との連携へ意識の高まり
- ・レセプトの数字には表れない連携の量・質ともに向上している現状



○病院と在宅の意見交換の場・顔の見える関係づくりの場の継続

- ・病院と在宅との双方向の情報共有と相互理解が深まるような取組みの継続
- ・病院と在宅との連携強化，医療と介護の連携強化への場づくり
- ・「柏モデルガイドブック」の改訂について引き続き検討